

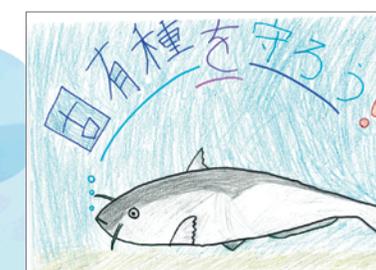


滋賀と海のつながり調査隊

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT in 滋賀県

2020年の秋、公募で集まった滋賀県内の小学5年生20名を「滋賀と海のつながり調査隊」に任命！
水源の森・琵琶湖・海について3日間の調査を行い、水と生き物の「つながり」を学び、ポスターを制作しました。

- 発行：海と日本プロジェクトin滋賀県実行委員会
- 事業運営：びわ湖放送株式会社
- 後援：滋賀県・滋賀県教育委員会
- 協力：滋賀県立琵琶湖博物館・きしわだ自然資料館



滋賀県立琵琶湖博物館 総括学芸員 大塚 泰介さん

「チリメン」を支える森からの恵み

チリメンジャコは、カタクチイワシが親と同じ姿に変態する前の子ども（仔魚）で、主にカイアシ類などの動物プランクトンを食べています。チリメンジャコに混ざっていたチリメンモンスターも、多くがカイアシ類を食べています。カイアシ類は主に植物プランクトンを食べています。その植物プランクトンは、森などの陸地から川を通して流入した栄養を使ってふえます。結局、チリメンジャコやチリメンモンスターを支えているのは、森からの恵みということになります。
琵琶湖で冬にとれるヒウオもアユの子ども（仔魚）で、カイアシ類などの動物プランクトンを食べています。やはり植物プランクトンを介して、森の恵みに支えられているのです。

海と日本プロジェクトin滋賀県 「滋賀と海のつながり調査隊」メンバー（20名）

1班	井村 風花	加藤 凜	志知 彩音	長谷川 怜央	水野 侑輝
2班	魚住 咲月	河原田 鳴	小松 優衣奈	西堀 昇之介	山崎 朱人
3班	倉園 梨愛	重岡 賢人	高道 玲哉	日比野 奏	藤田 彩寧
4班	今岡 美乃莉	江島 凜平	小俣 里菜	加藤 優里花	濱田 加那太

サポートリーダー(びわ湖放送) 河野 宏彰 中澤 誠 木場 仁美 杉山 宗一郎 推進リーダー(びわ湖放送) 小西 あゆ香

●お問い合わせ…海と日本プロジェクトin滋賀県実行委員会(びわ湖放送内) TEL: 077-524-0153

※ このイベントは、日本財団が推進する「海と日本プロジェクト」の一環で実施しました。



VEGETABLE OIL INK

私たちの生活と海はつながっている 魚庭(なにわ)の海・大阪湾



琵琶湖の水は、瀬田川・宇治川・淀川をとって大阪湾に流れ出します。また、大阪湾は、昔から漁業がさかんで、水あげされた海産物は、滋賀県に住む私たちの食卓にもなっています。

滋賀県立琵琶湖博物館で、きしわだ自然資料館の柏尾さんから、大阪湾について学びました。まずは、大阪湾にはどんな生き物がいるのか、シラスの中に混じってとれる生き物たち「チリメンモンスター」を探しました。エビ、タコ、イカ、タツノオトシゴなど、色々な生き物を発見!大阪湾が豊かな海だと実感しました。

つぎに、大阪湾と中継を結んで漁師さんにインタビューしました。答えてくださったのは、大阪湾で長年シラスやイカナゴ漁をされている岸和田市漁業協同組合の音掬(おんぞろ)組合長。大阪湾の漁や漁師さん達の森を守る活動について教えてもらいました。おいしい魚をとりつづけるためには、とりすぎないように工夫をすることや、海の栄養をつくりだす森を守ることが大切だと学びました。



みんなも調査してみよう!

きしわだ自然資料館 (大阪府岸和田市)

南大阪の大地のおいたちや、身近な自然について紹介している博物館。野生動物や昆虫、魚類、植物、化石などの展示のほか、フィールドセミナーや同館発祥の「チリメンモンスター」実習会なども開催しています。詳しくは、<https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>



滋賀県立琵琶湖博物館 (草津市)

国内最大級の淡水の生き物の展示や、琵琶湖と人の関わりを学ぶことができる総合博物館。2020年10月にリニューアルグランドオープン。詳しくは、<https://www.biwahaku.jp/>



海と日本 PROJECT in 滋賀県

滋賀と海のつながり調査隊

2日目 11月3日(火・祝)
沖島



滋賀県 水産課 関 慎介さん
沖島漁業協同組合 奥村 繁 組合長

1日目 10月31日(土)
奥びわ湖・山門水源の森



山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会の皆さん

3日目 11月8日(日)
滋賀県立琵琶湖博物館

3日目 11月8日(日)
岸和田市漁業協同組合



岸和田市漁業協同組合 音掬 政啓 組合長
おんぞろ



きしわだ自然資料館 柏尾 翔 学芸員

森を守ることが、琵琶湖や海を守る 奥びわ湖・山門水源の森



滋賀県内最大級の湿原をもつ、琵琶湖の水源。約4万年の歴史があり、めずらしい動植物を見ることができます。日ごろから、この森の保全活動をされている「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」の皆さんに案内して頂き、自然観察をしました。



森には、生き物のすみかとしての役割や、雨水をたくわえて少しずつ川に流す役割などがあります。また、森から流れ出た水は、琵琶湖や海の生き物にとっての栄養をたくさんふくんでいて、豊かな森を守るとは、琵琶湖や海を守ることにつながっています。

みんなも調査してみよう!

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」では、毎月第1・第3土曜日に森の保全活動をしています。会員でなくても、半日だけでも体験できます。詳しくは、<https://www.yamakado.net/>



琵琶湖は生き物の宝庫・固有種もいっぱい! 沖島

沖島は、湖で人が暮らす日本でただ一つの島です。島の人の多くが、漁業をして暮らしています。沖島漁業協同組合の奥村組合長に、漁の様子を見せて頂き、「琵琶湖の変化」についてお話を聞きました。奥村組合長は、「漁師は、琵琶湖の変化にいち早く気づくことができる・琵琶湖の番人だ」とおっしゃっていました。そして、魚をとる以外にも、普段から琵琶湖を守る活動をされていることを学びました。私たちは、琵琶湖の魚を食べることで、漁師さん達を応援することができます。



みんなも調査してみよう!

沖島へは、「おきしま通船」という連絡船で渡ることができます。島を散策することで、琵琶湖と共に暮らす人々の生活にふれることができます。ルールを守って散策しましょう。詳しくは、<https://montekite.com/> (沖島町離島振興推進協議会)

